西条

12 月号 2021-2022
No. 534

第 61 代会長スローガン 「 伝承 そして新たなる時代へ 」

キーワード 「 挑戦 」

4ゾーン合同アクティビティー『愛媛ふれあいの海辺』愛ビーチ清掃活動 2021.10.31

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区
2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌

2021-2022 ライオンズクラブ国際協会会長　ダグラス X･アレキサンダー

テーマ　「 We Serve（我々は奉仕する）」
メッセージ　「 心からの奉仕を 」 *Service from the Heart*

2021-2022 ライオンズクラブ国際協会 336－A地区ガバナー　蔵本守雄

スローガン「 命燃やして恋せよライオンズに 」
キーワード「 Overcome 」

2021-2022 ライオンズクラブ第 61 代会長　曽我部克正

結成60周年記念大会　2022 年 4 月 3 日(日)
大会テーマ　「 未来への提言 」
記念ゴルフ大会　2022 年 3 月 27 日(日)

第34回 国際平和ポスターコンテスト クラブ審査最優秀･優秀作品

最優秀賞 神拝小6年 真鍋愛実菜

【平和についてコメント】
世界各国の人々が集まるオリンピックを通じて、心がつながる事で平和な世界が続いて欲しいです。

橘小5年 工藤大雅

神拝小5年 曽我部魁人

玉津小6年 合田芽生

橘小6年 松賀愛来

神拝小5年 川名来湖夏

玉津小6年 三浦叶愛

■ 国際平和ポスター応募作品展示　於～西条市西条図書館1F ロビー　2021.10.26(火)～11.9(火)

～ 碧い国、四国を大切に想う～

河原津海岸の清掃奉仕活動

実施日　2021 年 10 月 31 日(日)

ライオンズクラブ国際協会336－A 地区2R―4Z　ZC 髙橋　学

今年度初となる4ゾーン合同アクティビティー「愛ビーチ清掃活動」が無事に終えられましたこと厚く御礼申し上げます。これもひとえに皆様の御協力によるものと心より感謝致しております。
高松キャビネットからの地区奉仕テーマに掲げられた河川海岸清掃活動ですが、趣旨に賛同し、計画したこの度の事業奉仕が、4ゾーン内各クラブより多くのメンバーと国際交流協会からのボランティアの方々とにより大変やりがいのある活動となり、私自身感激致しました。
　コロナ禍の中、しばらくゾーン内の会合や奉仕活動ができませんでしたが、「We　Serve」の精神をもつ同士が集い、奉仕する機会は本当にかけがえのないものだと実感できた一日でもありました。
参加いただいたメンバーの皆様方へも宜しくお伝え下さい。
当日は不慣れなことで不行き届きの点がございましたことご容赦いただければ幸いです。
また、伊予小松ライオンズクラブ様にはいろいろなお世話をいただき、サポートいただきましたことに重ねて御礼申し上げます。このままコロナ感染が県内、市内で収束し、ゾーン内の会議等が以前の様なスタイルで開催できることを切に願うばかりです。
　最後になりましたが、引き続きゾーン運営にご協力を賜ります様お願い申し上げます。

西条市国際交流協会のメンバーにも御協力いただき、砂浜の清掃活動を一緒に行いました。

◆ライオンズ４クラブが河原津海岸を清掃◆西条　西条の四つのライオンズクラブが10月31日、合同で西条市河原津の海岸清掃に臨んだ。市民が親しむ海岸をきれいにしようと、約80人が参加し、砂浜のごみを一つ一つ拾い集めた。
　清掃には西条、東予、伊予小松、西条石鎚の各ライオンズのメンバーと市国際交流協会の関係者が参加した。
　参加者はごみ袋を手に海岸に集合。ペットボトルや空き缶のほか、ロープやブイといった漁具、お菓子の包装や発泡スチロールなどのプラスチックごみを拾っていった。
　市内４クラブのゾーン・チェアパーソンを務める髙橋学さん(62)は「細かいプラスチックごみが、きりがないほどあった。今後も活動を続けて美しい環境を守っていきたい」と話した。
　ライオンズクラブ国際協会四国地区が海岸清掃に力を入れる方針を打ち出しており、各地のライオンズが呼応する活動を展開している。
（森岡岳夢）

河原津海岸のごみを拾うライオンズクラブのメンバー

愛媛新聞 10 面　掲載　2021.11.4

リーダーシップ研修会開催　～2021.11.28(日)～

白石前2RC が講師となり、リーダーシップについて学びました。会社やライオンズクラブにおけるリーダーシップとは何か、講話いただいた後「ライオンズ必携」に記載されている良く使う単語や語句について教えていただきました。入会して5年になりますが、まだまだ知らない事が沢山あることに気づかせていただき、感謝しています。

今回の研修を、今後のクラブ活動にいかせられるよう努めたいと思います。髙橋4ZC も大変、お疲れ様でした。

受講者　4ZCA　日野克則

新型コロナウィルス感染対策をライオンズクラブが支援

～　移動採血バス内を抗菌塗装　～

新型コロナ感染の拡大を受け、献血協力数が減り血液確保が困難な状況となるような事態を避けるため、徹底した感染予防対策を行った上で、より献血者の方々に安心した環境で献血にご協力をいただけるよう、愛媛県ライオンズクラブ(全48クラブ)が協同で移動採血バス内の抗菌塗装を行いました。

炉辺談話 ②　八百字のたわごと

～　日本民族のエネルギー　～

八十才近いおじいさん、診察室に入るや否や、「先生、日本はええ国じゃと思いましたかい」「どうしたんや」と私。「こないだ、一寸ヨーロッパへ行って来ましてのもし」と来る。

「へぇ、ロンドンやパリのヨーロッパかいの」と、近くの町のパチンコ屋のロッキーやハワイを思いうかべながら……。「それがの、先生、ローマで仲間の一人が、パスポートから荷物、お土産を一切盗られてしもうての……」

恐らく農協さんの団体旅行であろう。この年でよく行ったものと感心する。

日本経済の好況に支えられてとはいえ、こうして簡単に海外に出かける日本人のエネルギーはすばらしい。

十二、三世紀の昔、東北から下関まで、騎馬を唯一の輸送機関として、走り廻った義経軍団。倭寇や豊臣秀吉の朝鮮征伐、第一次、第二次大戦のいずれにも参戦して軍を進めたエネルギー、太平洋を単独でヨット横断したり、北極点に達したり、ヒマラヤに登ったり、南極に基地を作ったり、どこからこのエネルギーが生まれるのであろうか。

島国のこと、一度帆に風をはらめば、後は運まかせ、先の先まで考えず、外へ外へと、どんどん進む、夏の暑さ、冬の寒さ、四季の変化の厳しさに、ぼんやりしては生きてゆけぬ。

絶えず動き回り環境に対応する、そこに日本人のエネルギーがあるのだろうか。

お百姓のおじいさんも、ヨーロッパ見聞記として、ローマでの盗難事件を最大の土産話として、「日本はええわい」と人毎に話しをするのである。

外国語を勉強し、地理、歴史を調べ、マナーをかじって、さて、いざ海外旅行となると躊躇してしまう我々と違って、先づ目で見て、耳で聞き、口で味わい、肌で感ずる老人達に、はるかに逞しい昔の日本民族のエネルギーを感ずるのである。

シリーズ
伊予西條遺産

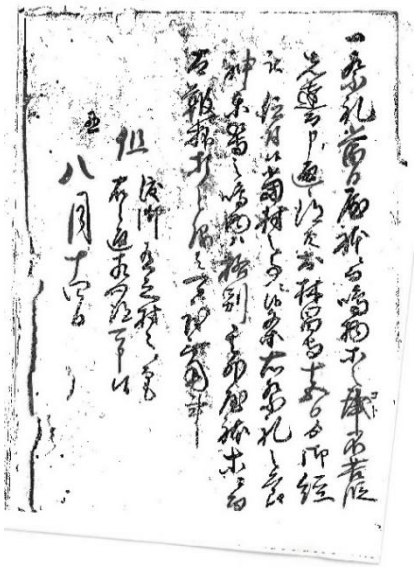
～ テーマ ～

第四代伊予西条藩主　松平頼邑（よりむら）
在任期間　1738年～1753年）

頼邑は頼渡の長子である。享保十七年九月朔日生、幼名を久松と称した。父の死去（33 歳）により元文3年（1738 年）、家を継いだ時は僅かに七才である。

幼少で病弱だった藩主・頼邑に代わって西条藩政を担当したのは家臣の者（藩政留守役）であった。藩の多額の借入金の返済を急ぎ、通常の年貢のほかに、上納銀の御用銀の徴収を強要したため、農民の中には田畑の耕作を放棄する者もでて、家臣による腐敗した政治が要因となり政情が不安定で、寛保2年（1742 年）には、紀州より合力米も1万俵減少し残り2万俵となり、藩財政は一層苦しくなった。こうしたひどい政治で領内の和平が保たれるはずもない。弊風がたちまち拡がり、領民は遊楽にはしり、田園も放置されるに近い状態となる有様である。

倹約令の発布などで改められるものではなかった。



倹約令に基づく西条藩の通達

寛延三年の倹約令は、実行されることは困難ながらも藩政改革の第一歩であった。藩の人事を改革し、従来の上納金もこれを藩債として返済させることとし、鷲見（すみ）藤左衛門（墓地：妙正寺）が西條における財政整理の担当者に任ぜられ藩政改革に努めたが焼石に水であった。西条藩が、この様なことをしていると知った宗家を継いでいる紀州藩6代藩主　徳川宗直（元西条藩二代藩主頼致は、飢饉でできた借入金と御用銀で徴収した分を返済して、藩の人心を一新し、従来の上納金を改め長期で返済する藩債にして、4代藩主　頼邑（22歳）を隠居させ、宗直の次男松平頼敦（よりあつ25歳）に西条藩の養子として相続させ、宝暦3年（1753 年）7 月 29 日に5代藩主が誕生したという経緯である。

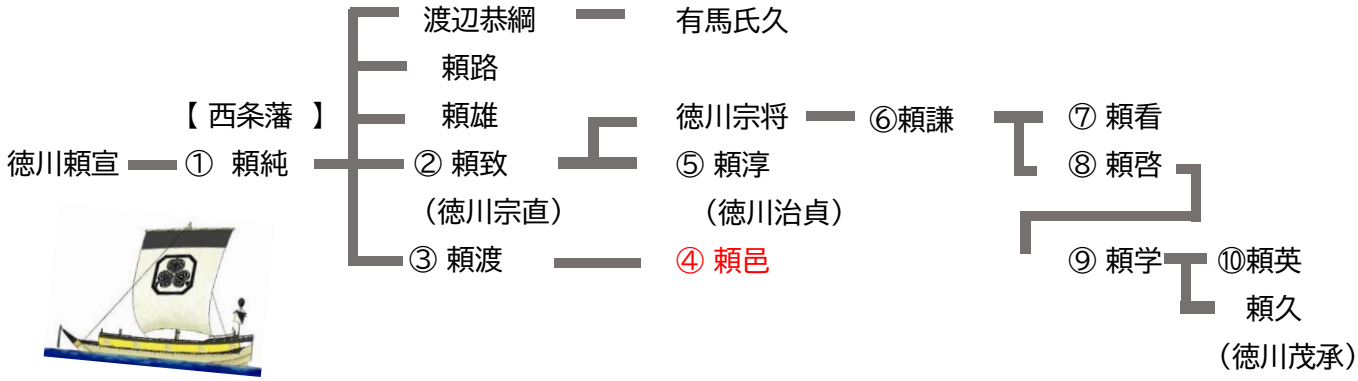
松平頼邑公は、宝暦元年（1751 年）に西条祭りの屋台総代につき「祭事中は身分に関わらず裃の着用や小脇差を挿すことを申し出により許可する。」という触書を出すなど、地域一体となった祭事として親しまれ、現代に受け継がれている。

頼邑は天明元年閏五月七日五〇才で没し、身延山に葬られた。法号を智性院殿道仁日雅大居士という。

この時代に西條真陰流の中興と称せられた塩出善五郎重勝がある。剣道の伝書によると、 飯塚長威入道―塚原前土佐守―同新左衛門尉―同卜傅―志島越前守―橋本和泉―同源濟入道―同外記―同源五左衛門―高橋勘平―鈴木長兵衛―塩出善五郎と伝えている。

重勝は元文五年十二月一〇没した。西條藩の武道はこの頃からいよいよ興隆し、重勝の子孫は代々真陰流の剣道を伝えて明治に至った。

参考資料：
西條人物列伝（西條郷土史研究会）
池畔の柳影（愛媛新聞社）、西条市誌（西条市）
愛媛県生涯学習センター「えひめの記憶」
加茂公民館だより、西条市生活文化誌（西条市）



西条ライオンズクラブ
会員募集中！

We Serve

◎ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。
世界で約 200 以上の国または領域にあり
49,000 を超えるクラブが存在し、140 万人以上の
会員がいます。あなたも世界の一員になりませんか。

◎西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブとして結成されました。「We Serve～我々は奉仕する～」を合言葉におなじ志をもつ仲間同士が集まって奉仕活動を行っています。
人の為に、社会の為に、一人ではできないことを、出会いを通して集まった会員が力を合わせて、それぞれの地域において社会奉仕に貢献していこうという団体です。

西条警察署前交差点中央分離帯に設置してある交通安全標示塔を結成60周年を記念し、この度リニューアル工事しました。

ほのぼのシリーズ

わたしのすきなもの

No. 34 新田公洋

■ 好きな本
『 竜馬がゆく 』

■ 好きな食べもの
焼肉

■ 好きな場所
夜の松山（今は行けませんが・・・）
～寿司 半兵衛 オススメのお店です。～

■ 好きな芸能人
吉岡里穂

■ 最近、感動したこと
夏の高校野球
（甥っ子が出場しました）

編集後記

『 今年１年感謝をこめて 』

昨年から始まった「新型コロナウイルス感染拡大」も、西条市では 11 月 1 日現在で約 10 人のうち 8.5 人の方の接種・予約状況となり、足元の感染状況は落ち着きを見せ始めています。徐々にではありますが、通常に近い生活に戻りつつあります。今は、第 6 波が来ないことを祈るばかりです。
今年を振り返り、本当にいろいろなことがありました。MC 広報委員会は、コロナに負けず途絶えることなく毎月「広報誌さいじょう」を発行することが出来ました。今年も、皆様に支えて頂き頑張ることの素晴らしさを教えて頂きました。感謝は言葉で伝えることが出来ませんが、支えて頂いている皆様に心から感謝申し上げます。令和 3 年も残すところ 12 月のみとなりました。
来るべき新しい年も、皆様にとってどうぞ希望に満ちた素晴らしい年でありますように・・。暮れまして、ありがとうございます。

MC・地区誌編集委員　盛實正人

発行者　会　長　曽我部克正
　　幹　事　植木光夫
［MC・地区誌編集委員会］
委員長／副委員長　髙田潤一／二瓶大介
　　編集委員　越智英明・村上公明・寺川治美
　　盛實正人・小野雅志
　　例会日　毎月　第１・第３火曜日（12：30～13：30）
　　例会場　西条商工会館
　　発　行　西条ライオンズクラブ事務局
　　印　刷　プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ
〒793－0027　愛媛県西条市朔日市７７９－８
西条商工会館３Ｆ
TEL(0897)56－3980
FAX(0897)56－9251
Ｅ－mail　saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://saijo-lions.jp
facebook　http://facebook.com/saijo.lions/